

佐伯市直川地区

宅配と配食を中心とした生活支援サービスの展開

地区の概要

所在地：佐伯市直川
世帯数：936世帯
高齢化率：47%

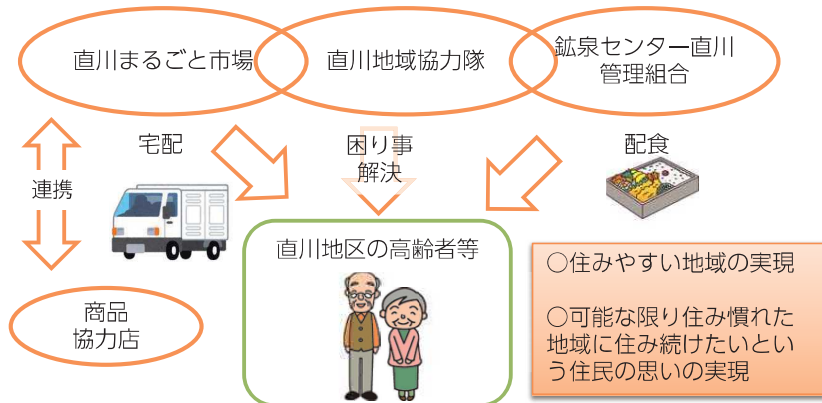
構成集落数：43集落
人 □ □：2,228人

平成29年4月時点

取組のきっかけ

直川地区では、できる限りそこに住み続けたいとの思いを実現するため、旧村域全体で、支え合いの地域づくりを進めている。その拠点として、鉱泉センター「かぶとむしの湯」や、庭先野菜などを集めて販売する「直川まるごと市場」は、高齢者の憩い交流、生きがいづくりの場として機能している。平成26年に、旧村5つの地区毎に公募により「直川地域協力隊」を結成し、草刈りや庭木の剪定、清掃など、高齢者等の困り事を支援している。高齢者単独や夫婦のみの世帯の増加により、宅配や配食などのニーズが増えてきたことから、既存の仕組みを上手く絡ませ進めていくこととした。

地域課題解決の取組イメージ



事業主体の概要

<直川まるごと市場>

活動拠点 佐伯市直川大字赤木4番地3
施設概要 直売所
主な取組
①直川農林産物加工所の管理、運営
②宅配サービス
③農産物の集荷



<鉱泉センター直川管理組合>

活動拠点 佐伯市直川大字赤木1252番地
施設概要 温泉施設
主な取組
①かぶとむしの湯、レストラン四季の運営
②配食サービス



取組の検討・実施

【宅配・配食サービス】

- ・電話注文を受けてサービスを提供する。
- ・宅配・配食サービスのチラシを市報と一緒に配布し、全世帯に周知した。
- ・宅配サービスの商品充実のため、村内店舗に「協力店」として商品の提供を依頼した。
- ・現時点ですぐに利用したい世帯が一定数あり、今後10年間程度で更に増加するであろうことが分かった。



地域の声

- ・宅配サービスを利用することで、少しの買い物のためにわざわざ遠くまで出かける必要がなくなり、寒い日や雨の日などは助かっている。

今後の方針

- ・宅配、配食、困り事解決による小規模集落対策の継続
- ・後継者確保による事業の継続